

科目名	政治史 Political History						
科目担当者	千知岩 正継 CHIJIWA Masatsugu						
単位数	4	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	日本国内であれ国家間であれ、現在進行中の政治現象を把握・判断し、今後の政治を展望するには、理論や思想にくわえて歴史的な知識が必要になります。そこでこの授業では、現代の普遍的ないしグローバルな国際社会の成立とその変遷に関する歴史を振り返り、解説します。そのなかで、植民地主義や人種主義の歴史、人権規範の登場、国際機構の歴史など、国際政治史上の重要な個別テーマも扱います。						
授業の到達目標	①現代の国際政治の背景をなす歴史を理解できる。 ②現在と過去の政治的出来事を結びつけて考えられるようになる。						
授業計画・内容	1	授業の導入+国際政治史	16	冷戦の起源と分断体制			
	2	近代主権国家体系の生成	17	グローバル化する冷戦①—ヨーロッパ冷戦の安定			
	3	ユトレヒト講和と勢力均衡	18	グローバル化する冷戦②—冷戦のグローバル化			
	4	アメリカ革命	19	冷戦体制の変容①—米ソ関係と同盟関係の変容			
	5	フランス革命とナポレオン戦争	20	冷戦体制の変容②—ベトナム戦争、二つのデタント			
	6	勢力均衡とナショナリズム①—ウィーン体制—	21	冷戦終結への道①—「新冷戦」			
	7	勢力均衡とナショナリズム②—ビスマルク体制—	22	冷戦終結への道②—さまざまな冷戦の終わり方			
	8	帝国主義の時代	23	湾岸戦争と新世界秩序			
	9	国際社会の組織化の始まり	24	ソ連解体			
	10	第一次世界大戦の衝撃	25	普遍的国際社会成立をめぐる二つの物語			
	11	第一次世界大戦後の国際秩序①—ヴェルサイユ体制と連盟設立—	26	EUの誕生と深化・拡大			
	12	第一次世界大戦後の国際秩序①—相対的安定期—	27	冷戦後の地域紛争・民族紛争			
	13	国際秩序の崩壊—1930年代の危機—	28	新興国台頭			
	14	第二次世界大戦	29	21世紀の国際政治①—9.11から「アラブの春」			
	15	国際政治史における第二次世界大戦	30	21世紀の国際政治②—Gゼロの時代？			
授業外学修 (事前学修)	前回の配布プリントの再確認、テキストの指定箇所の熟読（毎週 1.5 時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	ノートの点検、配布プリントの設問の解答、テキストや参考文献の熟読、国内外の政治関連ニュースのチェック（毎週 2.5 時間程度）						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	期末試験 リフレクション				70% 30%	①、② ①、②	
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	小川浩之、板橋拓己、青野利彦『国際政治史—主権国家体系のあゆみ—』有斐閣、2018 年。						
参考文献	有賀貞『国際関係史—16 世紀から 1945 年まで—』東京大学出版会、2010 年。 有賀貞『現代国際関係史—1945 年から 21 世紀初頭まで—』東京大学出版会、2019 年。 佐々木雄太『国際政治史—世界戦争の時代から 21 世紀へ—』名古屋大学出版会、2011 年。						
その他	Moodle 上からのアナウンスで連絡をするのでメールの確認をしっかりとすること						